

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称:

インバーター制御機器導入による排出削減事業

排出削減事業者名: ホテル朱鷺メッセ株式会社

排出削減事業共同実施者名: 環境経済株式会社

その他関連事業者名: 株式会社環境経済リサーチ

申請日: 2016 年 月 日

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	ホテル朱鷺メッセ株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	ホテル日航新潟
住所	新潟県新潟市中央区万代島5番1号口
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	株式会社環境経済リサーチ

(注) その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

インバーター制御機器導入による排出削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

ホテル日航新潟において、空調用冷温水・冷却水・温水・冷水ポンプは、ポンプの定格能力で送水を行っているため、空調負荷に応じた送水ができるように制御し、消費電力の削減を図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

本事業は、冷温水・冷却水・温水・冷水ポンプにインバーター制御装置を取り付け、空調負荷の変化に応じて送水量を変化させ、電力量を削減することによりCO2排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

共同実施者(環境経済株式会社)の住所、電話番号、FAX番号の変更

・変更前

排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社		
電話番号	03-6228-6850	Fax番号	03-6228-6852
住所	東京都中央区京橋1-8-13 花月ビル2階		

・変更後

排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社		
電話番号	03-5577-2061	Fax番号	03-5577-2065
住所	東京都千代田区神田小川町3-2第2大丸ビル4階		

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2009年 12月 1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ~ 2016年 6月 30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
005	間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類 可変能力制御機器の導入

#### 4.2 活動量

排出削減事業が活動量指標を採用している場合、排出削減事業計画5項に沿って記載。

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
冷温水ポンプ・冷却水ポンプ 温水ポンプ・冷水ポンプ	ポンプ稼働時間	

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

本事業の事業実施前において、ポンプ稼働時間がポンプ電力使用量に最も影響を  
変動要素である。また、事業実施後において導入設備によりポンプ稼働時間の計測が  
可能である。よってポンプ稼働時間を活動量として採用する。

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

ホテル日航新潟における、インバータ制御対象の冷温水・冷却水・温水・冷水ポンプの  
出力の及ぶ範囲である。

## 5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.1項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由	
M-1	事業実施前の活動量	h/年	24,678.4	ポンプ稼働記録台帳		
M-2-1	事業実施前電力使用量 (冷温水ポンプ)	kwh/年	60,459	電力計による計測		
M-2-2	事業実施前電力使用量 (冷却水ポンプ)	kwh/年	283,785	電力計による計測		
M-2-3	事業実施前電力使用量 (温水ポンプ)	kwh/年	76,998	電力計による計測		
M-2-4	事業実施前電力使用量 (冷水ポンプ)	kwh/年	175,962	電力計による計測		
M-3	事業実施後 の活動量	冷温水ポンプ	h	5,164	エコビジョンによる記録	
		冷却水ポンプ	h	14,984		
		温水ポンプ	h	28,420		
		冷水ポンプ	h	41,380		
M-4-1	事業実施後電力使用量 (冷温水ポンプ)	kwh	19,904	電力計による計測		
M-4-2	事業実施後電力使用量 (冷却水ポンプ)	kwh	327,253	電力計による計測		
M-4-3	事業実施後電力使用量 (温水ポンプ)	kwh	94,794	電力計による計測		
M-4-4	事業実施後電力使用量 (冷水ポンプ)	kwh	240,736	電力計による計測		
M-5	電力の二酸化炭素排出係数	t-CO2/kWh	0.000554	デフォルト値		

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
682,687	---	0.000554	378.2
EM <sub>Pj</sub>			378.2

### 7.2 ベースライン排出量

活動量 (kWh)	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
2,248,260	---	0.000554	1,245.5
	---		
EM <sub>BL</sub>			1,245.5

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
LE			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2排出量 (t-CO2)
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,245.5
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>Pj</sub>	378.2
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	867

## 8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績(2)	ベースライン- 実績(①)
578.3	175.6	402.47

$$\text{省エネ量} = 578.3 \text{ (kl)} - 175.6 \text{ (kl)} = 402.47 \text{ (kl)}$$

## 9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間( 年 月 日 ~ 年 月 日)		
		エネルギー使用量(実績)	熱量換算(GJ)(実績)	原油換算(kl)(実績)
バイオマス利用量	t			
バイオマス熱利用量	GJ			
太陽光発電量	kWh			
温泉熱・温泉排熱利用量	GJ			
バイオコークス利用量	t			
太陽熱利用量	GJ			
小水力発電量	kWh			
雪氷融解水熱利用量	GJ			
風力発電量	kWh			
バイオディーゼル燃料使用量	kl			

・本事業において、再生可能エネルギーは利用しない。